

NH₄-D アンモニウム（低濃度）

発色：無色→淡青→青

測定原理：蒸留とインドフェノール青法

測定範囲：0.05 ~ 2.00 mg/L (ppm)

試薬：LR-NH₄-A-2 No.17A R-1（液体）、R-2（小パック）、R-3（液体）

測定時間：R-3 試薬投入後 5 分

特殊用具：「アンモニウム（低濃度）セット」（型式 WA-NH₄ (L)-2）が必要です。

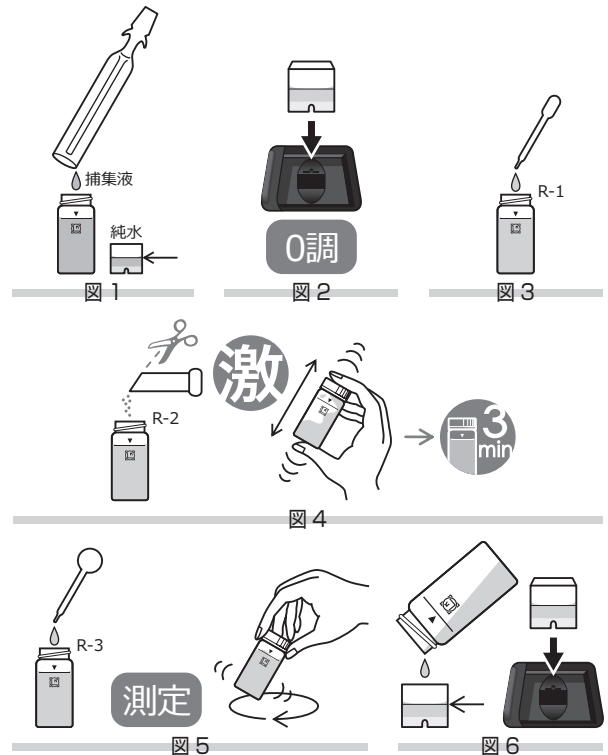
使用方法：「アンモニウム（低濃度）セット」に付属の使用法をお読みください。

セル：専用カップ

使用波長：637 nm, 590 nm

測定方法

- 1.【NH₄-D】を押します。
- 2.【決定】押し、測定画面に切替えます。
3. 蒸留後25mL に調整した捕集液を丸セル瓶に全量採ります。
純水を専用カップに1.5mL（線まで）採ります。（図1）
4. 専用カップをセルボックスに入れ、【0調】を押します。（図2）
専用カップを取り出し、純水を捨てます。
5. 丸セル瓶に、R-1 試薬を付属のポリピペットで3mL 加えます。（図3）
6. 丸セル瓶にR-2 試薬を加え、蓋をしっかりとめて、すぐに10秒間激しく振とうし、
3分待ちます。（図4）
7. 丸セル瓶に R-3 試薬を付属のポリピペットで2mL 加え、【測定】押し、蓋をしっかりとめて、5 ~ 6回攪拌します。（図5）
8. 5分後までに、丸セル瓶の測定液を4. の専用カップに1.5mL（線まで）移し、セルボックスに入れます。（図6）
9. 経過5分後に濃度が自動表示されます。



注意

1. 蒸留時は蒸留器のガラス部分も熱くなりますので、やけどにご注意ください。
2. 捕集液の温度は20℃で測定してください。
温度が異なる場合には、測定値に次の係数をかけると補正することができます。
15℃・・・×1.2 25℃・・・×0.75 30℃・・・×0.65
40℃以上では、赤色の異常発色を生じます。
3. 付属のポリピペットの代わりにメスピペット等を用いると、より正確に測定することができます。

共存物質の影響

「アンモニウム(低濃度)セット」に付属の使用法をご参照ください。

試薬に関するお知らせ

試薬に同梱の紙をご参照ください。

測定液は約 pH13 です。

NH₄-N-D アンモニウム態窒素（低濃度）

発色：無色→淡青→青

測定原理：蒸留とインドフェノール青法

測定範囲：0.05 ~ 1.50 mg/L (ppm)

試薬：LR-NH₄-A-2 No.17A R-1（液体）、R-2（小パック）、R-3（液体）

測定時間：R-3 試薬投入後 5 分

特殊用具：「アンモニウム（低濃度）セット」（型式 WA-NH₄ (L)-2）が必要です。

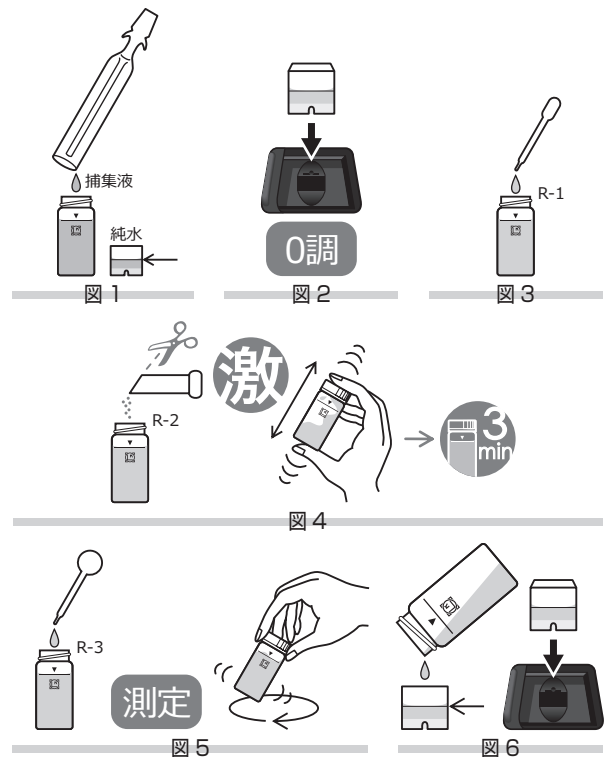
使用方法：「アンモニウム（低濃度）セット」に付属の使用法をお読みください。

セル：専用カップ

使用波長：637 nm, 590 nm

測定方法

- 1.【NH₄-N-D】を押します。
- 2.【決定】押し、測定画面に切替えます。
3. 蒸留後25mL に調整した捕集液を丸セル瓶に全量採ります。
純水を専用カップに1.5mL(線まで)採ります。(図1)
4. 専用カップをセルボックスに入れ、【0調】を押します。(図2)
専用カップを取り出し、純水を捨てます。
5. 丸セル瓶に、R-1 試薬を付属のポリピペットで3mL 加えます。(図3)
6. 丸セル瓶にR-2 試薬を加え、蓋をしっかりとめて、すぐに10秒間激しく振とうし、3分待ちます。(図4)
7. 丸セル瓶に R-3 試薬を付属のポリピペットで2mL 加え、【測定】押し、蓋をしっかりとめて、5 ~ 6回攪拌します。(図5)
8. 5分後までに、丸セル瓶の測定液を4. の専用カップに1.5mL(線まで) 移し、セルボックスに入れます。(図6)
9. 経過5分後に濃度が自動表示されます。



注意

1. 蒸留時は蒸留器のガラス部分も熱くなりますので、やけどにご注意ください。
2. 捕集液の温度は20℃で測定してください。
温度が異なる場合には、測定値に次の係数をかけると補正することができます。
15℃・・・×1.2 25℃・・・×0.75 30℃・・・×0.65
40℃以上では、赤色の異常発色を生じます。
3. 付属のポリピペットの代わりにメスピペット等を用いると、より正確に測定することができます。

共存物質の影響

「アンモニウム(低濃度)セット」に付属の使用法をご参照ください。

試薬に関するお知らせ

試薬に同梱の紙をご参照ください。

測定液は約 pH13 です。